

令和6年度 指定管理施設運営状況評価表

1. 施設の概要

施設の名称	むつ市奥薬研修景公園及びむつ市薬研温泉露天風呂	
指定管理者	団体名	大信産業有限会社
	代表者	畑中 祐美子
	所在地	むつ市大畑町本町80-94
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）	
指定管理業務の概要	1. 観光客や市民等の利用者の健康増進と保養の場の提供に関すること。 2. 観光情報の提供及び観光振興に関すること。 3. 修景公園・薬研温泉露天風呂の清掃その他、環境整備に関すること。 4. 修景公園・薬研温泉露天風呂の施設、設備等の維持管理に関すること。 5. 露天風呂の施設の提供に関すること。	

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区 分	計 画 額 ①	実 績 額 ②	増 減 (②-①)
収入合計 (A)	12,420	11,270	△1,150
うち利用料金額	2,610	1,392	△1,218
うち指定管理料	9,800	9,872	72
支出合計 (B)	12,420	12,812	392
うち人件費	5,420	6,574	1,154
収支差 (A-B)	0	△1,542	△1,542
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	夏場の高温の影響により7月～8月の繁忙期に「夫婦かっぱの湯」の利用者が14%減少した。 施設利用者は昨年より4%増加しましたが、自主事業の売り上げが2.8%減となり思うように伸びなかった。		

3. 施設利用の状況

単位：人

	区 分	計 画 ①	実 績 ②	増 減 (②-①)
利用者数	レストハウス	14,650	16,437	1,787
	夫婦かっぱの湯	10,250	5,188	△5,062
利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施（無） <ol style="list-style-type: none"> 施設内外の清掃や美化に努め来館者から清潔感があって良いとの評価をいただきました。 昨年同様記録的な高温が続き「夫婦かっぱの湯」の温度も上昇し利用者が快適に利用できるよう風呂の温度管理も加水や源泉バルブの調整により徹底し多くの利用者から「いいお湯だった」との評価をいただきました。 時期によりアブやカメムシ、スズメバチが発生し苦情があり害虫駆除に努めるとともに、アブが発生する夏場には今年もアブの天敵オニヤンマの模型を作成し随所に設置したら絶大な効果があり観光客にも好評でした。 				

4. 自主事業の実施状況

単位：人、千円

事業名	利用者数	収入	支出
入浴ポイントカードの実施	19	0	0
収穫祭の実施	0	0	0
バスタオル・湯あみ着貸出料	バ101・湯49	バ30・湯25	バ12・湯9

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価（A：優良 B：適正 C：要改善）

評価基準 A（優良）：計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果があった。

B（適正）：計画された業務水準を概ね達成した。

C（要改善）：計画された業務水準を達成できなかった。

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	B	B
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	B	B
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
④利用料金の收受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	B
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B
④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価

⑨ 指定管理者は当該評価期間における自己評価を記載すること。また、個別項目評価をCとした場合は、改善策も記載すること
 令和6年度は、施設利用者はコロナ禍から徐々に回復しているがコロナ前の水準にまだ達していない。昨年に続き記録的な高温が続いたため「夫婦かっぱの湯」の温度も上昇した為、加水や源泉ポンプを調整して利用者が快適に利用できるよう温度管理を徹底してきました。

年間通して季節の移り変りをSNSを活用しタイムリーな情報発信に務めてきました。しかしながら高温の影響により夏場の「夫婦かっぱの湯」の利用者の減少や紅葉時期の遅れや色づきが悪い等繁忙期の売り上げが伸び悩んだ。

7. 市の所管課総合評価

⑬所管課は当該評価期間における総合評価を記載すること。また、個別項目評価をCとした場合は、指導内容も記載すること。

施設利用者が快適に利用できるよう、常日頃から細かく丁寧に管理していただきありがとうございます。近年の記録的な高温により、「夫婦かっぱの湯」の利用者が減ってしまったとのことですが、施設利用者数は、徐々に回復してきているとのことですので、これは指定管理者の日々の努力の賜物だと感じます。観光客の方々が興味・関心を持ってくれるよう、また日頃利用してくださる市民の方々のために、SNSを駆使し、滞ることなく最新の情報を発信していただきました。引き続き、接遇の向上及び施設の維持管理を行い、多くの方々の保養の場として努めていただきたいと思います。